

AtermIWX70 用 i・ナンバー (3 番号) の説明と使い方

2000 年 9 月

【対応機種&ソフト名】

機種名	ソフト名	バージョン
AtermIWX70	ファームウェア	Ver.1.20 以降
	らくらくアシスタント(Windows 版)	Ver.1.10 以降
	らくらくアシスタント(Mac 版)	Ver.1.10 以降

- 【著作権者】 日本電気株式会社
【対象ユーザ】 上記の対応機種をご使用のお客様
【転載条件】 転載禁止

もくじ

1. お使いになる前に
2. i・ナンバー (3 番号) について
3. 電話機から設定する
4. らくらくアシスタントで設定する
5. 次の機能を使うときには
 - 5.1 INS ボイスワープ
 - 5.2 モデム・ダイヤルイン
 - 5.3 着信転送
6. AT コマンドで設定する

1. お使いになる前に

必要な設定を確認する

i・ナンバー（3 番号）を利用するにあたって、設定を行うために、本装置の「ユーティリティ」の一部であるらくらくアシスタントが「利用できる / 利用できない」で最初の設定方法が異なります。

らくらくアシスタントが利用できるパソコンでは

らくらくアシスタントを実行すると、アナログ通信機器の利用に必要な基本的な設定のほとんどが完了します。

下記の条件に該当する場合は、らくらくアシスタントで設定を行ってください。

らくらくアシスタントが利用できる条件

- ・シリアルポートまたは USB ポートにパソコンを接続している
- ・パソコンで Windows Me/2000/98/95/NT4.0 または Macintosh を利用している

らくらくアシスタントが利用できないとき、またはさらに詳細な設定を行いたいときはパソコン（AT コマンド）または電話機で設定します。

2. i・ナンバー（3 番号）について

i・ナンバー（有料）をご契約になると、複数の電話番号を持つことができます。相手の方がかけてきたときに通知される i・ナンバー情報ごとに、着信するポートを特定することができます。

必要なINS ネット64 の契約

i・ナンバー（有料）

本サービスをご利用になるには NTT 東日本 / NTT 西日本との契約が必要になります。

1 つ目の電話番号（契約者回線番号）が i・ナンバー情報 1、2 つ目の電話番号（追加番号）が i・ナンバー情報 2、3 つ目の電話番号（追加番号）が i・ナンバー情報 3 となります。

本装置で必要な設定

i・ナンバーを利用する旨と、相手の方が電話をかけてきたときに通知される i・ナンバー情報ごとに、着信するポートを設定する必要があります。

3 つの電話機で呼び分ける例

1234-1111（契約者回線番号）での着信はアナログ A ポートに、1234-2222（追加番号）での着信はアナログ B ポートに、1234-3333（追加番号）での着信は無線 A ポートにする場合

回線契約と設定	i・ナンバー情報 1	i・ナンバー情報 2	i・ナンバー情報 3
回線の契約	i・ナンバーを契約する		
	1234-1111（契約者回線番号）が割り当てられる	1234-2222（追加番号）が割り当てられる	1234-3333（追加番号）が割り当てられる
i・ナンバーの設定	「i・ナンバー情報を使用する」を選択する		
電話番号の設定	1234-1111 を設定する	1234-2222 を設定する	1234-3333 を設定する
着信するポートの設定	「A ポート」を選択する	「B ポート」を選択する	「無線 A ポート」を選択する

《お知らせ》

- ・「i・ナンバーを使用する」と設定した場合は、初期値として、契約者回線番号（i・ナンバー情報 1）に電話がかかってくるとアナログ A ポートに着信し、1 つ目の追加番号（i・ナンバー情報 2）に電話がかかってくるとアナログ B ポートに着信するようになっています。初期値のままだと、2 つ目の追加番号（i・ナンバー情報 3）に電話がかかってきても、アナログポートに着信しません。
- ・相手の方に通知する i・ナンバー（契約者回線番号または追加番号）は、アナログ A ポート、および無線ポートから電話をかけた場合は i・ナンバー情報 1 になり、アナログ B ポートから電話をかけた場合は i・ナンバー情報 2 になります。
- ・初期値以外の着信 / 発信するポートの設定を希望される場合は、別途設定が必要になります。

3. 電話機から設定する

i・ナンバーを設定する

《着信番号の設定》

受話器を上げる。

【*】【*】【1】【*】を押す。

【5】【*】を押す。

【9】【0】【1】～【9】【0】【3】を押す。

i・ナンバー情報 1 を設定するときは【9】【0】【1】、

i・ナンバー情報 2 を設定するときは【9】【0】【2】、

i・ナンバー情報 3 を設定するときは【9】【0】【3】

を押してください。

【*】【電話番号】【#】【#】の順に押す。

から繰り返してi・ナンバー情報 1～3 のうち利用するものすべてを設定する。

【#】を押して受話器を戻す

《着信ポートの設定》

受話器を上げる。

アナログポートの場合は【*】【*】【1】【*】、

無線ポートの場合は【*】【*】【7】【*】を押す。

設定するポートを押す。

【1】: アナログAポート、【2】: アナログBポート、

【0】: 全無線ポート共通、【1】: 無線Aポート

【2】: 無線Bポート、【3】: 無線Cポート

【4】: 無線Dポート、【5】: 無線Eポート

【6】: 無線Fポート

【*】【9】【4】【*】を押す。

着信させる電話番号を押す。

i・ナンバー情報 1 を設定するときは【1】、

i・ナンバー情報 2 を設定するときは【2】、

i・ナンバー情報 3 を設定するときは【3】

を押してください。

【#】を押す。

他のポートの設定をする場合にはにもどる。

【#】を押して受話器を戻す。

《発信ポートの設定》

《着信ポートの設定》の手順で 項の入力番号を

【*】【9】【5】【*】とすることで《発信ポート

の設定》となります。

《i・ナンバーの使用設定》

受話器を上げる

【*】【*】【1】【*】【4】【*】【7】【6】
【*】【1】【#】【#】を押す、受話器を戻す。

「i・ナンバーを使用する」のときに着信転送を設定する

《転送元の登録》

受話器を取り上げる。

【*】【*】【1】【*】【4】【*】【4】【0】

(～【4】【2】)【*】を押す。

【4】【0】～【4】【2】を押すと、i・ナンバー情報ごとに1件(合計3件)までの電話番号を登録

できます。

転送元のi・ナンバー情報番号を登録する。

i・ナンバー情報 1 への着信を転送するときは【1】、

i・ナンバー情報 2 への着信を転送するときは【2】、

i・ナンバー情報 3 への着信を転送するときは【3】

を押してください。

【#】を押す。

《転送先の登録》

【4】【*】【3】【0】(～【3】【2】)【*】を

押す。

の で押したのと同じ
ボタンを押す

転送先の電話番号を登録する。

【#】を押す。

《着信転送の種類選択》

・NTT 着信転送を設定するとき

【4】【*】【2】【7】【*】【1】【#】【*】

【トキサービス】【#】【#】を押す。

・疑似着信転送を設定するとき

【4】【*】【2】【7】【*】【2】【#】【#】

を押す。

トキサービスは、下記の中から選択してください。

【0】: なし

【1】: 転送トキのみ有り

【2】: 転送元トキのみ有り

【3】: 両トキともに有り

受話器を戻す

《お知らせ》

- ・電話番号の設定を正しく行わないと、相手の方に正しい電話番号が伝わらなかったり、発信者番号通知で設定した内容が有効とならない場合があります。また、INS ネット 64 の各種サービスが利用できない場合もありますので、電話番号は正しく設定してください。

4. らくらくアシスタントで設定する

らくらくアシスタントを起動する

<Windows Me/2000/98/95/NT4.0 の場合>

1. 本装置の電源を入れる。
2. [スタート]をクリックし、[プログラム]
[AtermIWX70&RS20 ユーティリティ]の順に
ポイント、[IWX70&RS20 らくらくアシスタント]
をクリックする。

らくらくアシスタントが起動します。

らくらくアシスタントを終了する

<Windows Me/2000/98/95/NT4.0 の場合>

1. 設定が終了したら、らくらくアシスタントの最初
の画面で [閉じる] ボタンをクリックする。
2. [OK] ボタンをクリックする。

らくらくアシスタントが終了します。

i-ナンバーを設定する

1. [IWX70&RS20 の詳細設定] をクリックし [全体設定] から [電話番号の設定] を選択する。

[電話番号テーブル] が表示されます。

2. [i-ナンバーを使用する] をクリックする。

i-ナンバーの設定画面になります。

3. 項目を設定する。

[電話番号]

i-ナンバー情報 1、 i-ナンバー情報 2、 i-ナンバー情報 3 の電話番号を入力します。

- (ハイフン) は入力しなくてもかまいません。

[内線指定番号]

i-ナンバー情報ごとに 0~9 の数字を使って 4 桁の任意の
番号を入力します。

アナログ・ダイヤルインを使用するときに設定します。

[着信ポート]

i-ナンバー情報 1、 i-ナンバー情報 2、 i-ナンバー情報 3
で呼び出すポートを選択します。

[通知番号]

アナログポート (A,B) データポート (シリアルポート、USB ポート) 無線ポート (A,B,C,D,E,F) から、それぞれ
が発信したときに通知する電話番号を 1 つずつ選択します。

4. [OK] ボタンをクリックする。

らくらくアシスタントの起動画面に戻ります。

<Macintosh の場合>

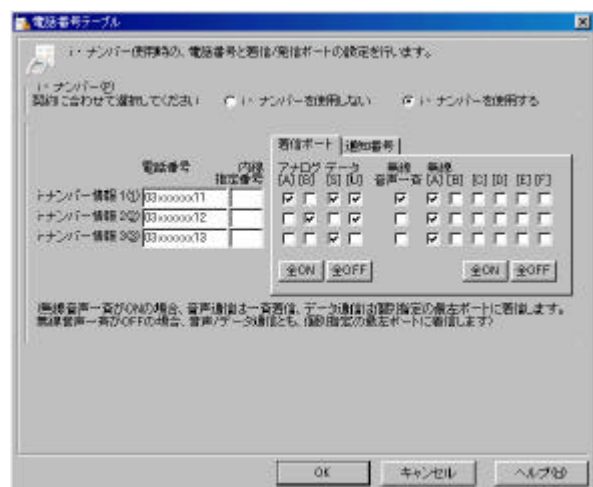
1. 本装置の電源を入れる。
2. [IWX70 らくらくアシスタント] アイコン
をダブルクリックする。
3. 接続ポートを選択し [OK] ボタンをクリックする。

らくらくアシスタントが起動します。

<Macintosh の場合>

1. 設定が終了したら、らくらくアシスタントの最初
の画面で [閉じる] ボタンをクリックする。
2. [OK] ボタンをクリックする。

らくらくアシスタントが終了します。



Macintosh の場合は上記1 の手順が、「[INS 回線の電話番号の設定] ボタンをクリックする。」になります。

【お知らせ】

- ・電話番号の設定を正しく行わないと、相手の方に正しい電話番号が伝わらなかったり、発信者番号通知で設定した内容が有効とならない場合があります。また、INS ネット 64 の各種サービスが利用できない場合もありますので、電話番号は正しく設定してください。

着信転送を設定する

1. [IWX70&RS20 の詳細設定] をクリックする。
2. [電話 A ポート] をクリックする。
3. [共通設定タグ] をクリックし、[電話着信転送モード] を選択する。
4. [着信転送設定] ボタンをクリックする。
5. 項目を設定する。(画面は一例です)

[転送 / 通知モード]

NTT 着信転送、疑似着信転送、電話番号着信通知のどれを利用するか選択します。

[転送条件]

転送条件を設定します。

「使用しない」に設定した場合は無条件で転送されます。

「INS なりわけ時に転送する」に設定した場合は、あらかじめ INS なりわけ電話番号を登録しておきます。

「疑似着信転送時に転送する」に設定した場合は、あらかじめ疑似識別着信用の電話帳に疑似識別する電話番号を登録しておきます。

[転送設定]

・i・ナンバーを利用した場合

転送先欄に各 i・ナンバー情報の転送先の電話番号を入力します。

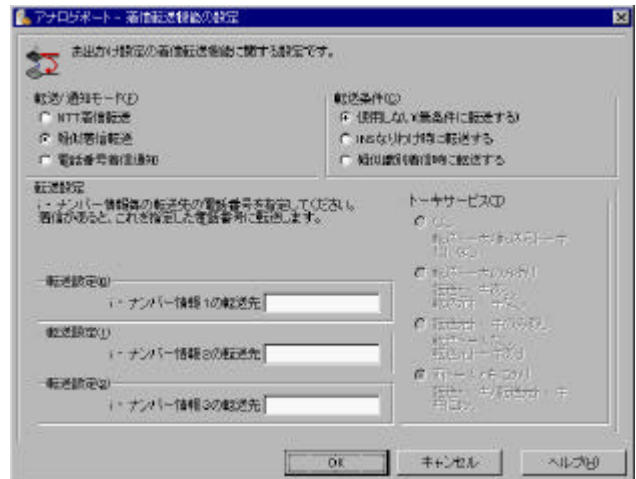
- (ハイフン) は入力しなくてもかまいません。

[トーキサービス]

転送トーキと転送先トーキを流すかどうかを選択します。

疑似着信転送をご利用のときは、トーキサービスを利用することはできません。

6. [OK] ボタンをクリックする。



Machintosh の場合は、上記1 ~3 の手順が以下ようになります。

[アナログポートの詳細設定] ボタンをクリックする。

[共通設定] 設定タグをクリックする。

設定項目から [着信設定] を選択する。

[電話着信転送モード] を選択する

5. 次の機能を使うときには

5.1 INS ボイスワープ

INS ネット 64 の i・ナンバーを使用し、かつ INS ボイスワープも使用する場合には、必ず i・ナンバー情報に契約した電話番号を設定してください。電話番号が設定されていないと、INS ボイスワープが正常に動作しません。

5.2 モデム・ダイヤルイン

INS ネット 64 の i・ナンバーを使用し、かつモデム・ダイヤルインも使用する場合には、必ず i・ナンバー情報に契約した電話番号を設定してください。電話番号が設定されていないと、モデム・ダイヤルインが正常に動作しません。

5.3 着信転送

INS ネット 64 の i・ナンバーを使用し、かつ着信転送も使用する場合には、必ず i・ナンバー情報に契約した電話番号を設定してください。電話番号が設定されていないと、着信転送が正常に動作しません。

また、i・ナンバー情報毎に着信転送先を設定してください。

6. AT コマンドで設定する

[i・ナンバーを設定するために必要なAT コマンドの詳細](#)

*PC	i・ナンバー発信用 i・ナンバー情報設定	
機能	i・ナンバー発信用の i・ナンバー情報を設定します。	
書式	AT*PC<パラメータ1> <=パラメータ2>	
パラメータ	<パラメータ1>	A、B、(アナログポート)、N(データポート) PA、PB、PC、PD、PE、PF(無線ポート)
	<パラメータ2>	1~3(i・ナンバー情報)
入力例	AT*PCA=1	
補足	初期値は B=2 それ以外 1	

*PN	i・ナンバー情報の電話番号	
機能	i・ナンバー情報の電話番号を設定します。	
書式	AT*PN<パラメータ1> <=パラメータ2>	
パラメータ	<パラメータ1>	1~3(i・ナンバー情報)
	<パラメータ2>	電話番号(0~9の数字、10桁まで)
入力例	AT*PN1=0312345678	

*PR	i・ナンバー着信用 i・ナンバー情報設定	
機能	i・ナンバー着信用の i・ナンバー情報を設定します。	
書式	AT*PR<パラメータ1> <=パラメータ2> <,パラメータ3> <,パラメータ4>	
パラメータ	<パラメータ1>	A、B(アナログポート)、N(データポート) P、PA、PB、PC、PD、PE、PF(無線ポート)
	<パラメータ2> ~ <パラメータ4>	1~3(i・ナンバー情報)
入力例	AT*PRA=1,2	
補足	初期値は A=1、B=2、N=1,2、P、PA=1,2 他設定無し	

*PX1	i・ナンバーの使用設定	
機能	i・ナンバーを使用するかどうかを設定します。	
書式	AT*PX1=<パラメータ1>	
パラメータ	<パラメータ1>	0: 使用しない(初期値) 1: 使用する
入力例	AT*PX1=1	

*P?	i・ナンバーの設定表示	
機能	i・ナンバーに関する設定を表示します。	
書式	AT*P?	
入力例	AT*P?	